

令和2年度 埼玉大学 特別入試学生募集要項

推薦入試

教養学部・経済学部・教育学部・理学部・工学部

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のWEBサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

・埼玉大学ホームページ <http://www.saitama-u.ac.jp>

令和元年7月

目 次

| | | |
|------|-------------------------|----|
| I | 学生募集の日程 | 2 |
| II | 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） | 4 |
| III | 教養学部 | 8 |
| IV | 経済学部 | 10 |
| V | 教育学部 | 13 |
| VI | 理学部 | 30 |
| VII | 工学部 | 32 |
| VIII | 障がい等のある入学志願者の事前相談について | 35 |
| IX | 合格者の発表及び入学手続 | 35 |
| X | 検定料の免除 | 37 |
| XI | 入試情報の開示 | 37 |
| XII | 個人情報の保護について | 37 |
| XIII | 入試情報ホームページ及びスマホサイト | 37 |
| XIV | 学生宿舎について | 38 |
| XV | Web出願について | 39 |
| XVI | 受験票のダウンロード | 42 |
| XVII | 合否照会システムの利用方法について | 44 |

I 学生募集の日程

教養学部推薦入試

| 学 科 | 募集人員 | 大学入試 センター試験 | 出願期間 | 入試期日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------|------|----------------|--------|-------|------|-------|
| 教養学科 | 20名 | 課さない | 11/1-7 | 11/16 | 12/3 | 12/12 |

経済学部推薦入試

| 学 科 | 募集人員 | 大学入試 センター試験 | 出願期間 | 入試期日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------|------|----------------|--------|-------|------|------|
| 経済学科 | 15名 | 課す(注) | 11/1-7 | 11/16 | 2/10 | 2/17 |

(注) R2/1/18・19に行われる大学入試センター試験[3教科3科目又は2教科2科目(※)]

{国語(近代以降の文章のみ利用する)、「世界史B、日本史B、地理B、『倫理、政治・経済』」の4科目から1科目(ただし2科目受験のときは第1解答科目に限る)、英語(リスニングを含む)}を必ず受験すること。

受験しない場合は失格となります。

※外国語を受験せずに2教科2科目で受験することができる場合は、10ページ「4 選抜方法」を参照。

教育学部推薦入試

| 募集単位等 | | 募集人員 | 大学入試 センター試験 | 出願期間 | 入試期日 | 合格発表 | 入学手続 | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------|--------|--------|----------|------|------|
| 学校 教育 教員 養成 課程 | 小 学 校 コ ー ス | (教育学に関心を持つ者) | 6(注3) | 課す(注1) | 11/1-7 | 11/16-17 | 2/10 | 2/17 |
| | | (心理学・教育実践学に関心を持つ者) | 14(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (国語教育に関心を持つ者) | 2(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (英語教育に関心を持つ者) | 2(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (社会科教育に関心を持つ者) | 10(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (算数教育に関心を持つ者) | 3(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (理科教育に関心を持つ者) | 5(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (音楽教育に関心を持つ者) | 5(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (図画工作教育に関心を持つ者) | 3(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (体育教育に関心を持つ者) | 5(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (ものづくりと情報教育に関心を持つ者) | 4(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | (家庭科教育に関心を持つ者) | 3(注3) | 課す(注1) | | | 2/10 | 2/17 |
| | | 中 学 校 コ ー ス | 言語文化専修 | 国語分野 | | | 2 | 課さない |
| 英語分野 | 2 | | | 課す(注1) | 2/10 | 2/17 | | |
| 社会専修 | | | 2 | 課す(注1) | 2/10 | 2/17 | | |
| 自然科学専修 | 数学分野 | | 2 | 課す(注2) | 2/10 | 2/17 | | |
| | 理科分野 | | 3 | 課す(注2) | 2/10 | 2/17 | | |
| 芸術専修 | 音楽分野 | | 2 | 課さない | 12/3 | 12/12 | | |
| | 美術分野 | | 2 | 課さない | 12/3 | 12/12 | | |
| 身体文化専修 | 保健体育分野 | | 3 | 課さない | 12/3 | 12/12 | | |
| 生活創造専修 | 技術分野 | | 2 | 課す(注2) | 2/10 | 2/17 | | |
| | 家庭科分野 | | 2 | 課さない | 12/3 | 12/12 | | |
| 乳幼児教育コース | | 5 | 課さない | 12/3 | 12/12 | | | |
| 特別支援教育コース | | 2 | 課す(注1) | 2/10 | 2/17 | | | |
| 養護教諭養成課程 | | 5 | 課さない | 12/3 | 12/12 | | | |

(注1) R2/1/18・19に行われる大学入試センターにおいて、17頁(注2)に記載された科目を必ず受験すること。受験しない場合は失格となります。

(注2) R2/1/18・19に行われる大学入試センターにおいて、18頁(注3)に記載された科目を必ず受験すること。受験しない場合は失格となります。

(注3) この内訳は目安である。

(注4) 推薦入試での入学者については、以下のとおりの所属となる。

| 募集単位等 | 1年次後半以降所属 |
|-------------------|-------------------|
| 教育学に関心を持つ者 | 教育学専修 |
| 心理学・教育実践学に関心を持つ者 | 心理・教育実践学専修 |
| 国語教育に関心を持つ者 | 言語文化専修 国語分野 |
| 英語教育に関心を持つ者 | 言語文化専修 英語分野 |
| 社会科教育に関心を持つ者 | 社会専修 |
| 算数教育に関心を持つ者 | 自然科学専修 算数分野 |
| 理科教育に関心を持つ者 | 自然科学専修 理科分野 |
| 音楽教育に関心を持つ者 | 芸術専修 音楽分野 |
| 図画工作教育に関心を持つ者 | 芸術専修 図画工作分野 |
| 体育教育に関心を持つ者 | 身体文化専修 体育分野 |
| ものづくりと情報教育に関心を持つ者 | 生活創造専修 ものづくりと情報分野 |
| 家庭科教育に関心を持つ者 | 生活創造専修 家庭科分野 |

理学部推薦入試

| 学 科 | 募集人員 | 大学入試 センター試験 | 出願期間 | 入試期日 | 合格発表 | 入学手続 |
|-------|------|----------------|--------|-------|------|------|
| 基礎化学科 | 5名 | 課す(注) | 11/1-7 | 11/16 | 2/10 | 2/17 |

(注) R2/1/18・19に行われる大学入試センター試験[3教科5科目]{数I・数A, 数II・数B, 化, (物, 生, 地学)から1, 英(リスニングを含む。)}を必ず受験すること。受験しない場合は失格となります。

工学部推薦入試

| 学 科 | 募集人員 | 大学入試 センター試験 | 出願期間 | 入試期日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------------|------|----------------|--------|-------|------|------|
| 環境社会デザイン学科 | 10名 | 課す(注) | 11/1-7 | 11/16 | 2/10 | 2/17 |

(注) R2/1/18・19に行われる大学入試センター試験[3教科4科目]{数I・数A, 数II・数B, 物, 英(リスニングを含む。)}を必ず受験すること。受験しない場合は失格となります。

※ 合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の募集人員に加えます。

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

首都圏の一角を構成する埼玉の地で、ひとつのキャンパスに全学部が集まる総合大学として、埼玉大学は多様な個性が行き交い、融合する場として発展することを目指しています。私たちの下で学んだ卒業生が主体的にこの機会を活かし、知の継承を支える人に育つことを期待します。

社会を構成する組織と活動はますます広域化・複雑化しており、多くの人や組織をひとつの目的に向けて協力させることは困難になる一方で、切実に必要とされています。埼玉大学は実験報告や演習などを通じて知を伝え合う教育や、英語など国際化教育のために多くの資源を割いていますが、自分が確かな専門性を持ってこそ、交流による相互貢献も豊かなものになります。専門的な知を得ること、それを伝え、また受け入れること、そしてその全体を主体的に推し進めることのすべてが大切です。

埼玉大学の各学部では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に沿った多様な教育を実施し、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った厳格な卒業認定を行います。埼玉大学および入学する学部について、ふたつのポリシーを理解し、自らが学ぶ場として主体的に選んでくれることを、すべての入学者に希望します。

多様性は現代の大学に課された重要課題です。大学もまたひとつの社会なので、教職員も含めすべての参加者が国籍や性別、ハンディキャップの有無に関わらず、互いに尊重し合う方法を学ばなければなりません。

埼玉大学は、キャンパスに多様な知性が輝き融合するよう、各学部・学科等において様々な条件の入試を課します。

【教養学部】

教養学部では、次のような人材の育成を目指します。

教養学部は、グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化の5専修より構成され、人文学・社会科学の伝統・成果の継承と、多様な文化や価値観の理解を深めるための教育・研究を行っています。自ら問題を設定し解決する能力と、国内外の人々との的確なコミュニケーション能力を身につけて現代の諸問題に適切に対処し、解決の展望を切り拓ける人材の育成を目標としています。

教養学部では、次のような知識の修得、能力の獲得を目指した教育を行います。

- ① 人文学、社会科学、自然科学に関する幅広い基礎知識
- ② 人文学、社会科学の専門分野(グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化)における十分な知識と能力
- ③ 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化及び価値観を理解する能力
- ④ 自ら問題を設定して論理的に考察し、表現する能力
- ⑤ 国内外の人々との的確に意思を疎通できる能力

教養学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までの課程の教育内容を幅広く修得している人
- ② 自らを高め、社会に貢献する意欲と経験のある人
- ③ 様々な地域・時代の人々及びその文化に関心と敬意を抱ける人
- ④ 英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人

【経済学部】

経済学部では、私たちの下で学んだ卒業生が次のような人に育つことを期待します。

- ① 自らの感性を生かし、すすんで問題を発見し、その解決方法を探究できる人
- ② 国際的視野をもち、社会に積極的に意見を発信し、貢献することができる人
- ③ 自らの教養と専門的知見を、卒業した後も積極的に高めていくことができる人

経済学部では、次のような知識、能力などの獲得を目指した教育を行います。

- ① 社会科学に関する幅広い基礎知識と、各専門分野（経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策）についての体系的で深い専門的知識
- ② 疑問を学びにつなげ、目的に沿って学びをデザインする能力(必修科目「アカデミック・スキルズ」など)
- ③ 国際的視野に裏打ちされた対話能力(プレゼミ、演習など)
- ④ 自ら問題を発見・探求し、その成果を整合的にまとめ、効果的に発信できる能力(卒業研究)

経済学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべきことがらを幅広く修得し、入学後に必要な基礎学力を有している人
- ② 国内外の社会のさまざまな問題に対して旺盛な好奇心や知的関心をもち、それらを学ぶ意欲が高い人
- ③ 自分の将来像を思い描き、その中に経済学部で学ぶ意味を位置づけられる人
- ④ 幅広い教養と社会科学の専門的知見を身につけて、社会に貢献したいと考えている人
- ⑤ 自らの知識や経験を生かして、生涯にわたり自分自身をさらに発展させようと考えている人

経済学部では、入学する皆さんに次のような学習姿勢を期待します。

- (1) 基礎学力の習得
 - ・思考を明瞭にし、人に正しく伝える基礎的な力として、意味を明確に理解して使いこなせる豊かな語彙を蓄えること。
 - ・断片的な知識の後ろにある一般的な論理や構造に関心を持ち、ある事柄が正しいと認めるときは、そのための条件や前提を合わせて理解すること。
- (2) 国内外の社会への関心を養うこと
 - ・社会の諸現象について、過去の例、他地域・他産業の例などとの比較の視点を持ち、そこから学べる点を自分の言葉にまとめ直して、すぐ取り出せるようにしておくこと。
 - ・ひとつの問題を複数の立場(利害関心)や複数の社会的な望ましさからとらえ、それらの対立点を理解し、複合的に問題を見る練習をすること。
- (3) 論理的思考力・表現力およびその基礎となる読解力の習得
 - ・主張の根拠とその確からしさを意識し、相対的・客観的な見方によって議論を整理できるようになること。
 - ・文章やデータなどの判断材料に基づき、正しいかどうかを客観的に判断する多様な方法を身につけ、具体的な問題に応用できるようになること。
 - ・文章構成(論理の流れ、段落分けなど)を意識した、平明に論旨が伝わる文章が書けるようになること。

【教育学部】

教育学部では、次のような人に育つことを期待します。

教育学部は幼稚園(認定こども園を含む)・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など、様々な学校で活躍する教員を育成するための学部です。教育学部における学びを通じて、確かな学力を有した力量ある質の高い教員に育つことを目標とします。そのために必要な資質・能力として、まず、豊かな人間性や社会性、主体的に行動する態度、常に学び続ける姿勢などが育まれることを期待します。その上で、教育の場で出会う多様な人々との関りの中で問題を解決していく力と、各教科・諸学に関する高い専門性と教員としての幅広い知識・実践力という二つの力量を統合させた人材が育成されることを期待します。

教育学部では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。

- ① 人文学・社会科学・自然科学を通じた幅広い教養・知識
- ② 教育にたずさわる人が身につけておくべき幅広い基礎知識
- ③ 教育の諸分野(教育に関する諸分野・各教科に関する様々な学問)に関する専門的な知識・技能
- ④ 問題の答えを主体的に探し求めるのに必要な思考力・判断力・表現力
- ⑤ 教育の場における高度な実践的指導力
- ⑥ 豊かな人間性を有し、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力

教育学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、社会を生き抜く力をはぐくむ教職への意欲・情熱・使命感がある人
- ② 幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人
- ③ コミュニケーション能力や表現力が豊かで、相手の立場に立って考え、周囲と協調して行動できる人
- ④ 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後、専門的な知識・技能を理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人
- ⑤ 入学後の学修において必要となる、様々な諸問題に柔軟に対応できるだけの確かな学力を有している人

【理学部】

理学部では、次のような人を育成することを目指しています。

理学とは広く数学・物理・化学・生物・地学にわたる自然科学を対象として、その謎を解き明かし、自然現象の把握に有効な概念を確立し、その現象を支配する法則を発見し、それを活用・応用していく英知を持って広く社会の進歩に貢献することを目指す学問分野です。埼玉大学理学部には、これらの基礎的な自然科学分野を網羅し、その関連性も重視した5学科（数学科・物理学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科）が設置されています。

理学部では、学士課程学生(以下、学生)が、自らが専攻する専門分野を、基礎から応用へ向けて段階的に学び、専門知識と思考力・探求力・問題発見および解決力を修得・獲得することを目指します。また理学部では、学生が専攻する専門分野を超えて、広く自然科学分野の知識と思考力を修得し、加えて人文学、社会科学、現代テクノロジー分野についても幅広い基本的知識を身につけ、自らが修得した知識を活用できる汎用的な能力や国内外の人々とのコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指しています。

理学部では、このような知識を修得し、能力・技能を獲得した学生が社会の様々な分野に進出したのちに客観的な判断力と合理的な決断力を発揮できる人材として活躍すること、あるいはさらに大学院に進み、高度な研究環境のもとでさらなる研究能力の向上に研鑽し、その学問分野の理解を深め、研究者や高度専門職業人として社会をリードし、中核となって活躍する人材として成長することを期待します。

理学部では、次のような知識の修得、能力などの獲得を目指した教育を行います。

理学部では入学した学生を、「育成したい人材像」に向けて育成するために、以下の知識・能力・技能を修得・獲得するための教育を行います。

- ① 自然科学の専門分野に対する十分な知識と思考力、問題発見および解決能力
学生が所属する学科が開講する講義・実験・演習・実習等授業を受講し、専攻する専門分野を基礎から応用へ向けて段階的に学ぶことにより、専門知識と思考力・探求力・問題解決力・分析力を高度に深化・育成する教育を行います。
- ② 自然科学に対する幅広い基礎知識
専攻する専門分野を超えて、理学部他学科等が開講する授業を受講することにより、広く自然科学に関する知識とそれを踏まえた思考力を修得する教育を行います。
- ③ 人文学、社会科学、現代テクノロジー、情報機器に関する基本的理解・技能
埼玉大学基盤科目群の授業等を受講することにより、社会人として身につけておくべき基礎知識・技能の修得、またそれを生かした思考力を育成する教育を行います。
- ④ 知識を活用できる汎用的な能力、国内外の人々との確に意思疎通できるコミュニケーション能力
理学部や各学科が開講する関連授業を受講することにより、理工系人材として、専門知識以外の身につけるべき能力の獲得と向上を目指す教育を行います。

理学部では、次のような人が入学することを期待します。

自然科学の各分野に関わり、強い知的な好奇心と探求心を有することは、学士課程で理学を学び、継続的に自己を磨き進化させていくための原動力です。埼玉大学理学部で学ぼうとする皆さんには入学時において、

- ① 自然科学の学問分野に関心を持ち、その分野の専門知識を主体的に学習し、修得することに強い好奇心と熱意をもっていること。
- ② 「理学部の入学者受入れの方針」に書かれた理念に共感するとともに、その方針に従い学修に努め、将来、学士あるいは修士・博士課程を修めた、自然科学分野の専門性を有する社会人として、様々な分野で社会に貢献しようとする志をもっていること。
これらに加えて、入学までに身につけておいてほしいことは以下の点です。
- ③ 入学後の理学部各学科での学修で必要となる理科、数学について、高等学校学習指導要領に基づき「学ぶべき事項」を幅広く修得していること。加えて、英語・国語は自然科学の研究活動における国際的な共通言語として、また論理的な文章の作成のための素養として不可欠であり、これらの語学能力を今後さらに発展させるために十分な基礎力を入学時に有すること。
- ④ 高等学校における理科・数学に関わる実験・演習、もしくは課外活動は、自然科学を学ぶ上で必要な論理的思考力や分析力・判断力を育くむために有効な取り組みです。加えて、協働して実験・演習などの課題に取り組む経験はコミュニケーション能力の向上に有効であり、また、実験や実習・演習の過程・成果を説明・記述する作業は、表現力の向上に役に立つと考えられることから、これらの諸活動に積極的に参加することを推奨します。

【工学部】

工学部では、次のような人を育成することを目指しています。

工学部は、自然科学、人文・社会科学等に対する幅広い教養と知識を有し、専門分野における十分な知識と能力を備え、次代の我が国及び世界の産業社会を担う優れた技術者を養成することを目的としており、機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科、情報工学科、応用化学科、環境社会デザイン学科の5つの専門教育プログラム（学科）で構成されています。また、専門教育において修得した基礎的な知識・能力を活かして、大学院に進学し、高度技術者、研究者への道を歩むための能力を身に付けるとともに、豊かな教養と社会的責任を自覚できる倫理観を有し、実践的な企画・立案ができる人材を育てることを目指しています。

工学部では、次のような知識、能力などの修得を目指した教育を行います。

- ① 人文・社会科学に対する幅広い教養と知識
- ② 工学の基礎及び各専門分野における十分な知識と能力
- ③ 課題を探求・発見し解決する実践的能力
- ④ 国際的視野とコミュニケーション能力
- ⑤ 多様な人々と協調し、主体的に行動する資質
- ⑥ 科学技術が社会や自然に及ぼす影響、技術者・研究者の社会的責任を理解できる倫理観

工学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得しているとともに、入学後の学修において特に必要となる数学、理科、英語の基礎学力を有している人
- ② 国際的なプレゼンテーションやコミュニケーションの能力を修得するために必要な基礎学力を有している人
- ③ 知識を応用問題に活かすために、論理的思考ができる人
- ④ 工学の問題に関して知的好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする学習意欲のある人
- ⑤ 専門技術者として、グローバルな視点に立って国際社会に貢献する意欲のある人
- ⑥ 問題を整理し、解決方法を見出して、それを実践する意欲を有する人
- ⑦ 幅広い分野・世代の人との議論および共同作業によって目的を達成する意欲を有する人

Ⅲ 教養学部

1 推薦入試を実施する学科及び募集人員

| 学 科 | 募 集 人 員 |
|------|---------|
| 教養学科 | 20名 |

2 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。）
推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

3 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 調査書の全科目の評定平均値が4.3以上の者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 「推薦入試の選抜」の結果不合格となった者（合否未定の者を含む）は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。但し、推薦入試で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文及び面接によります。
※「志望の理由」は、教養学部教養学科を志望する理由を自由に記述してください。
面接の際の資料とします。

- (2) 配点

| 小論文 | 面接 |
|-----|-----|
| 100 | 100 |

- (3) 小論文の採点・評価基準
理解力、論理的思考力、記述力を重視します。
- (4) 面接の採点・評価基準・形式
 - ・面接は日本語で行います。
 - ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
 - ・複数の面接員で実施します。
 - ・グループディスカッションは行いません。
 - ・面接の採点評価基準：口頭試問の結果を総合的に判断します。
- (5) 合否判定基準
 - ・小論文及び面接の総合点順に合否を決定します。
 - ・総合点が高点の場合は、面接点が高い方を上位とします。
 - ・なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は選抜の基礎資料とします。

5 入試日程

- (1) 期日及び場所
令和元年11月16日(土) 埼玉大学教養学部
- (2) 日程
小論文 9:30～11:00(90分)
面接 12:00～

6 出願手続

| | | |
|-------|--|--|
| 出願方法 | 出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 39頁「XV Web出願について」をよく読み、手続きを行ってください。 | |
| 出願期間 | 令和元年11月1日(金)～7日(木) 期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(金)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(金)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。) | |
| 提出書類等 | 1 入学志願票 | Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。 |
| | 2 推薦書 | 出身学校長が作成したもの。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 3 志望の理由 | 本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 4 調査書 | 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。 |
| | 5 検定料の免除 | 検定料の免除については、37頁「X 検定料の免除」を参照。 |
| 書類提出先 | 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教養学部係 | |

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、請求書受理後1ヶ月程度かかります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、41頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、教養学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

IV 経済学部

1 推薦入試を実施する学科及び募集人員

| 学 科 | 募 集 人 員 |
|------|---------|
| 経済学科 | 15名 |

2 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。）

推薦できる者の数は、1校につき2名とします。

3 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 調査書中、全体の評定平均値が3.8以上の者
- (3) 次の (a) (b) のいずれかを満たす者
 - (a) 日本の小学校、中学校または高等学校に相当する1年（school year）以上の海外での学校教育（日本人学校や私立在外教育施設を含む）を受けた経験を有すること。
 - (b) 次のいずれかの英語力検定試験で、下記以上のスコアを取得した者。ただし出願時まで2年以内に受験し取得したスコアに限る。
 - ・TOEIC 660 ・IELTS（アカデミック・モジュール） 5.0
 - ・TOEFL iBT 71 ・GTEC（4技能版のオフィシャルスコアに限る。CBTタイプも可） 1189

<注意事項>

- (1) 国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 「推薦入試の選抜」の結果不合格となった者（合否未定の者を含む。）は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、推薦入試で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

- (1) 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、自己推薦書（志望の理由を含む）、大学入試センター試験、英語力検定試験（注）、小論文及び面接の成績による。
大学入試センター試験の教科科目指定は以下のとおり
国語（近代以降の文章のみ利用する）、「世界史B、日本史B、地理B、『倫理、政治・経済』」の4科目から1科目（ただし2科目受験のときは第1解答科目に限る）、外国語〔英語（リスニングを含む）〕

（注）出願時にTOEIC、IELTS、TOEFL、GTECの成績証明書を提出した者（「3 推薦対象者」の（3）（a）に該当する者も提出可能）は、大学入試センター試験で外国語を受験せずに2教科2科目で受験することができます。その場合、英語力検定試験のスコアを本学で定めた換算基準に基づき、大学入試センター試験（英語）の成績に換算して採用します。

なお、英語力検定試験とセンター試験（英語）の両方を受験した場合、あるいは英語力検定試験のうち複数の試験を受験した場合は、高得点の方を採用します。

(2) 配点

| 大学入試センター試験 | | | 小論文 | 面接 |
|------------|---------------------|-----|-----|-----|
| 国語 | 「世、日、地、『倫、政』」のうち1科目 | 英語 | | |
| 100 | 400 | 300 | 200 | 200 |

※センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。

(3) 小論文の出題意図、採点・評価基準

小論文においては、文章を読み、著者の考えを要約または説明させる設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。前者においては文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなどの文章構成の明確さ、後者においては論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識の豊かさを中心に評価します。

(4) 面接の採点・評価基準・形式

- ・面接は日本語で行います。
- ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
- ・複数の面接員で実施します。
- ・グループディスカッションは行いません。

- ・面接の採点評価基準：口頭試問の結果を総合的に判断します。

(5) 可否判定基準

大学入試センター試験（英語については英語力検定試験を含む）、小論文試験及び面接試験の総合点順により可否を決定します。

ただし、小論文試験の得点が4割未満の場合は不合格とします。

総合点が同点の場合は、同順位とします。

なお、学校長からの推薦書、自己推薦書（志望の理由を含む）及び調査書は選抜の基礎資料とします。

5 入 試 日 程

(1) 期 日 及 び 場 所

令和元年11月16日(土) 埼玉大学経済学部

(2) 日 程 小 論 文 10:30 ~ 11:30 (60分)

大学入試センターより大学入試センター試験受験票が到着したら、受験票に添付されている「**推薦 国公立推薦入試用**」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、大学入試センター試験成績請求票貼付用紙を印刷し、「**推薦 国公立推薦入試用**」成績請求票を貼り、「〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月23日(月)までに必ず送付してください。

6 出 願 手 続

| | | |
|-------|--|--|
| 出願方法 | 出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 39頁「XV Web出願について」をよく読み、手続きを行ってください。 | |
| 出願期間 | 令和元年11月1日(金)～7日(木) 期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(金)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(金)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。) | |
| 提出書類等 | 1 入学志願票 | Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。 |
| | 2 推薦書 | 出身学校長が作成したもの。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 3 自己推薦書 (志望の理由を含む) | パソコン等により作成したもの。なお、作成にあたってはA4サイズ1枚、1200字程度、書類上部に氏名と生年月日を記載してください。 |
| | 4 調査書 | 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。 |
| | 5 留学先での成績証明書等 | 「3 推薦対象者」の(3)(a)に該当する者は、留学先での成績証明書など、海外での学校教育を受けた経験を有することを証明する書類を提出してください。 |
| | 6 英語力検定試験の成績証明書 | 「3 推薦対象者」の(3)(b)に該当する者、および(3)(a)に該当する者のうち希望者は、英語力検定試験の成績証明書を提出してください。TOEIC(IPを含む)の場合、公式認定証または、スコアレポート |

| | |
|-------|--|
| | <p>ートを提出してください。TOEFL (ITPを含む) やIELTSの場合、手持ちの成績証明書 (Examinee Score Report) を提出してください。GTECの場合、「GTEC」OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください。複数回の試験を受験している場合、12ページにある換算表をもとに、最も有利なもの1つを提出ください。</p> <p>ETSから本学へのスコア送付 (Official Score Report) は利用できません。</p> <p>提出された成績証明書は返却いたしません。</p> <p>検定料の免除については、37頁「X 検定料の免除」を参照。</p> |
| 書類提出先 | 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学経済学部係 |

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
 到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった (出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>) より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当 (返還は、請求書受理後1ヶ月程度かかります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、41頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、経済学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

経済学部推薦入試 英語力検定試験換算表

| TOEFL iBT | TOEIC | TOEFL iBT | TOEIC | IELTS | TOEIC |
|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|
| 120 | 990 | 94 | 890 | 9.0 | 990 |
| 119 | 990 | 93 | 825 | 8.5 | 990 |
| 118 | 990 | 92 | 816 | 8.0 | 990 |
| 117 | 990 | 91 | 807 | 7.5 | 990 |
| 116 | 990 | 90 | 802 | 7.0 | 882 |
| 115 | 990 | 89 | 796 | 6.5 | 807 |
| 114 | 990 | 88 | 787 | 6.0 | 730 |
| 113 | 990 | 87 | 779 | 5.5 | 652 |
| 112 | 990 | 86 | 773 | 5.0 | 578 |
| 111 | 989 | 85 | 767 | | |
| 110 | 980 | 84 | 764 | | |
| 109 | 966 | 83 | 753 | | |
| 108 | 951 | 82 | 739 | | |
| 107 | 945 | 81 | 736 | | |
| 106 | 940 | 80 | 730 | | |
| 105 | 922 | 79 | 727 | | |
| 104 | 911 | 78 | 721 | | |
| 103 | 908 | 77 | 716 | | |
| 102 | 902 | 76 | 707 | | |
| 101 | 894 | 75 | 693 | | |
| 100 | 882 | 74 | 687 | | |
| 99 | 865 | 73 | 681 | | |
| 98 | 859 | 72 | 675 | | |
| 97 | 853 | 71 | 667 | | |
| 96 | 845 | | | | |
| 95 | 836 | | | | |

| GTEC | TOEIC |
|-----------|-------|
| 1400 | 990 |
| 1345-1399 | 990 |
| 1293-1344 | 882 |
| 1241-1292 | 807 |
| 1189-1240 | 730 |

※TOEICスコアから大学入試センター試験(英語)への換算は、経済学部1年生のデータを用いて行い、換算にあたっては偏差値を用いる。
 TOEFL、IELTS及びGTECのスコアは、換算表に従いTOEICへ換算する。

V 教育学部

1 推薦入試を実施する募集単位等及び募集人員

| | | 募集単位等 | | 募集人員 | |
|----------------|------------|---------------------|--------|------|---------|
| 学校教育 教員養成課程 | 小学校 コース | (教育学に関心を持つ者) | | 62 | 6 (注1) |
| | | (心理学・教育実践学に関心を持つ者) | | | 14 (注1) |
| | | (国語教育に関心を持つ者) | | | 2 (注1) |
| | | (英語教育に関心を持つ者) | | | 2 (注1) |
| | | (社会科教育に関心を持つ者) | | | 10 (注1) |
| | | (算数教育に関心を持つ者) | | | 3 (注1) |
| | | (理科教育に関心を持つ者) | | | 5 (注1) |
| | | (音楽教育に関心を持つ者) | | | 5 (注1) |
| | | (図画工作教育に関心を持つ者) | | | 3 (注1) |
| | | (体育教育に関心を持つ者) | | | 5 (注1) |
| | | (ものづくりと情報教育に関心を持つ者) | | | 4 (注1) |
| | | (家庭科教育に関心を持つ者) | | | 3 (注1) |
| | | 中学校 コース | 言語文化専修 | | 国語分野 |
| | 英語分野 | | | 2 | |
| | 社会専修 | | 2 | | |
| | 自然科学専修 | | 数学分野 | 2 | |
| | | | 理科分野 | 3 | |
| | 芸術専修 | | 音楽分野 | 2 | |
| | | | 美術分野 | 2 | |
| | 身体文化専修 | | 保健体育分野 | 3 | |
| 生活創造専修 | 技術分野 | | 2 | | |
| | 家庭科分野 | | 2 | | |
| 乳幼児教育コース | | 5 | | | |
| 特別支援教育コース | | 2 | | | |
| 養護教諭養成課程 | | 5 | | | |

(注1) この内訳は目安である。

2 推薦入試の対象となる学校及び推薦数

全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。）

推薦できる者の数は、各募集単位等（※）とも1校につき2名までとする。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとする。

※ 各募集単位等は以下のとおりである。

- 小学校コース（教育学に関心を持つ者）
- 小学校コース（心理学・教育実践学に関心を持つ者）
- 小学校コース（国語教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（英語教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（社会科教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（算数教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（理科教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（体育教育に関心を持つ者）
- 小学校コース（ものづくりと情報教育に関心を持つ者）

小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）
中学校コース 言語文化専修 国語分野
中学校コース 言語文化専修 英語分野
中学校コース 社会専修
中学校コース 自然科学専修 数学分野
中学校コース 自然科学専修 理科分野
中学校コース 芸術専修 音楽分野
中学校コース 芸術専修 美術分野
中学校コース 身体文化専修 保健体育分野
中学校コース 生活創造専修 技術分野
中学校コース 生活創造専修 家庭科分野
乳幼児教育コース
特別支援教育コース
養護教諭養成課程

3 推薦対象者

次の各条件を満たす者とする。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
ただし、学校教育教員養成課程
小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）、
小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）、
小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）、
中学校コース芸術専修音楽分野、
中学校コース芸術専修美術分野、
中学校コース生活創造専修家庭科分野
においては、平成29年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）
においては、平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。
養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。

<注意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出ること。
- (2) 国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。
- (3) 「推薦入試の選抜」の結果不合格となった者（合否未定の者を含む。）は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができる。但し、推薦入試で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

(1) 次表の選抜方法（募集単位により異なる）によります。

| 募集単位等 | | 選抜方法 | |
|----------------|------------|--------------------|--|
| 学校教育 教員養成課程 | 小学校 コース | (教育学に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 ※「志望の理由」は、教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述すること。 |
| | | (心理学・教育実践学に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 ※面接は、心理学・教育実践学に関する口頭試問を含む。 |
| | | (国語教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 |
| | | (英語教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 ※面接は、英語に関する口頭試問を含む。 |
| | | (社会科教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 |
| | | (算数教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 ※面接は、算数・数学に関する口頭試問を含む。 |
| | | (理科教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 ※面接は、理科に関する口頭試問を含む。 |
| | | (音楽教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接、実技検査（19頁参照のこと）及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 |
| | | (図画工作教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、高等学校卒業後の経歴書（既卒者のみ）、面接、実技検査及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。 【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊（※）を持参すること（大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でもよい）。 ※作品ファイル＝入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル |

| | | | |
|--------|---------------------|---|---|
| 小学校コース | (体育教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、スポーツ活動に関する調査書、面接、実技検査(20頁参照のこと)及び大学入試センター試験(科目については(注2))による。 | |
| | (ものづくりと情報教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注2))による。 ※面接は、ものづくりと情報に関する口頭試問を含む。 | |
| | (家庭科教育に関心を持つ者) | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文、面接及び大学入試センター試験(科目については(注2))による。 ※面接は、家庭科に関する口頭試問を含む。 | |
| 中学校コース | 言語文化専修 | 国語分野 | 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接による。 |
| | | 英語分野 | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注2))による。 ※面接は、英語に関する口頭試問を含む。 |
| | 社会専修 | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注2))による。 | |
| | 自然科学専修 | 数学分野 | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。 ※面接は、数学に関する口頭試問を含む。 |
| | | 理科分野 | 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。 ※面接は、理科に関する口頭試問を含む。 |
| | 芸術専修 | 音楽分野 | 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接及び実技検査(19頁参照のこと)による。 |

| | | | | |
|------------|-----------|--------|--------|--|
| 学校教育教員養成課程 | 中学校コース | 芸術専修 | 美術分野 | <p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、高等学校卒業後の経歴書（既卒者のみ）、面接及び実技検査による。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画</p> <p>【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊（※）を持参すること（大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でもよい）。 ※作品ファイル＝入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p> |
| | | 身体文化専修 | 保健体育分野 | <p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、スポーツ活動に関する調査書、小論文、面接及び実技検査（20頁参照のこと）による。</p> |
| | | 生活創造専修 | 技術分野 | <p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入試センター試験（科目については（注3））による。</p> <p>※面接は、技術に関する口頭試問を含む。</p> |
| | | | 家庭科分野 | <p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接による。</p> <p>※面接は、家庭科に関する口頭試問を含む。</p> |
| | 乳幼児教育コース | | | <p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接による。</p> |
| | 特別支援教育コース | | | <p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文、面接及び大学入試センター試験（科目については（注2））による。</p> |
| | 養護教諭養成課程 | | | <p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接による。</p> <p>※面接は、保健に関する口頭試問を含む。</p> |

（注1）「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述すること。

（注2）国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（『「基礎を付した科目」から2科目』又は『「基礎を付していない科目」から1科目』）、外国語（英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目）

なお配点は、以下の通りである

| 大学入試センター | | | | | |
|----------|--------|----------------------|-----|-----|-----|
| 国語 | 地歴及び公民 | 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」又は「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 | 理科 | 外国語 | 計 |
| 200 | 100 | 100 | 100 | 200 | 700 |

(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、数学Ⅰ・数学Ⅱ、理科（『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付してない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない」から2科目』）、外国語（英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目）

なお配点は、以下の通りである

| 大学入試センター | | | | | |
|----------|--------|-----------|-----|-----|-----|
| 国語 | 地歴及び公民 | 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 | 理科 | 外国語 | 計 |
| 200 | 100 | 100 | 100 | 200 | 900 |
| | | 100 | 100 | | |

(注4) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。

(注5) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。

(注6) (注2)・(注3)において、本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、下記の通りとする。

- ① 「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。
- ② 「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。
- ③ 「地歴及び公民」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。
- ④ 「数学」から2科目を受験した場合は、高得点科目の成績を採用する。

(注7) (注3)において、「理科」の「「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目」の合計3科目選択する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)を選択することができる。

(注8) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)〕×0.8＝200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。

音楽実技検査について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）及び中学校コース芸術専修音楽分野を志望する者

検査項目

次のA)、B)を全員が受験する。なお、「音楽実技検査に関する調書」を出願書類と同時に提出すること。

A) 次のイとロの両方を受験する。

イ. 次の3つの歌の中から任意の1曲を選び、ピアノ伴奏つき楽譜（例えば市販されている楽譜、自作の伴奏をつけた手書きの楽譜など）を用いて、自分でピアノ伴奏を弾きながら歌う。楽譜を見てもよい。調は自由。

- ・冬げしき （さざりきゆる みなとえの・・・） 文部省唱歌 2番まで歌う。
- ・ふじ山 （あたまをくもの うえにだし・・・） 文部省唱歌 2番まで歌う。
- ・われは海の子（われはうみのこ しらなみの・・・） 文部省唱歌 2番まで歌う。

[注] 当日用いる伴奏つき楽譜（手書きでも可）を、出願書類と同時に提出すること。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにすること。製本しないこと。（提出された楽譜は返却しない。）

ロ. 「ハノンピアノ教本」のNo.39より、検査当日指定される、同一調号の長調と短調の音階を暗譜で演奏する。ただし、調号が#3つまで、b3つまでの調とする。繰り返しは省略。短調は、和声的短音階の後、続けて旋律的短音階を弾き、カデンツ（終止形）を付ける。速度は、J=60以上とする。

B) 次の1または2のどちらか1つを選択して受験する。

1. 声楽

5分以上10分程度までの任意の独唱曲を原語・暗譜で歌う。（曲数は問わない。オペラ、オラトリオの曲は原調とする。）

2. 器楽

次の楽器の中から1つを選び、5分以上10分程度までの任意の独奏曲を演奏する。（曲数は問わない。ピアノは暗譜とする。）ピアノソナタの楽章を複数演奏する場合は、同一の作品から選ぶこと。

ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

[注] ①上記の1、2とも、伴奏の有無は自由とするが、本学では伴奏者を用意しないので、必要とする場合は、志願者各自で伴奏者を同伴すること。ただし、本学在学学生及び教職員は除くこと。

②上記の1、2とも、演奏する曲の楽譜を出願書類と同時に提出すること。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにすること。製本しないこと。（提出された楽譜は返却しない。）

③ピアノ以外の楽器は、志願者各自が持参すること。

④上記の1、2とも、繰り返しは省略。ただし、ダ・カーポは行うこと。

⑤演奏する箇所を指定することがある。

⑥複数曲提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏すること。なお、演奏する曲目を指定することがある。

⑦5分以内であっても演奏を途中で打ち切ることがある。

体育実技検査について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野を志望する者

検査項目

次の種目から1科目選択し、受験すること。

| 種 目 | 内 容 |
|----------|--|
| 陸 上 競 技 | 100m走、400m走、1500m走、100mハードル、110mハードル、走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、円盤投げの中から1つについて評価する。 100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走する。400m走は、土のグラウンド（使用できない場合100mゴムシート上を折り返し走）でスターティングブロックから疾走する。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周する。100mハードルは女子、110mハードルは男子とする。 走り幅跳び・三段跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定する。 砲丸投げは、高校用砲丸(男子6kg、女子4kg)を、円盤投げは、高校用円盤(男子1.75kg、女子1kg)を投てきする。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構わない。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがあるが、選択内容に近い距離や検査内容とする。 |
| バレーボール | 1. 2人組のパス 2. レセプション（サーブレシーブ） 3. アタック 4. ポジション別の課題 5. 4人対4人のゲーム （人数によっては、やり方を変えることがある） |
| バスケットボール | バスケットボールの個人技能をみる（ディフェンスがいない状態で自分の得意なシュートをいくつか行う） パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行う。 パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行う。 （人数によっては、やり方を変えることがある） |
| サッカー | 個人技能：①ボールコントロール、②パス&コントロールを行う。 個人戦術：クロスボールに対する①シュートと②ボールクリアランスを行う。 グループ戦術：「3対3」の攻防を1つのゴール（GK有）で行う。 チーム戦術：「5対5」以上の人数でゲーム形式を行う。 （人数によって、やり方を変えることがある） |
| ダンス | 「創作ダンス作品の演技（3分以内）」。 作品のタイトル・テーマは自由。音楽（CDに限る）を持参して使用してもよい（プレーヤーは大学で用意）。衣装は自由（スカートをはく、上着を着るなど簡単な衣装をつけてもよい）。創作ダンスに必要なダンステクニックの習熟度と作品を表現する力を評価する。 |

(2) 合否判定基準

ア 各募集単位等で指定した試験（小論文、面接、実技検査、大学入試センター試験）及びスポーツ活動に関する調書（小学校コース（体育教育に関心を持つ者）、中学校コース身体文化専修保健体育分野）の成績の総合点順に合否を決定します。

なお、全ての募集単位等において、学校長からの推薦書及び調査書は選抜の基礎資料とします。

イ 小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）及び中学校コース芸術専修音楽分野において、実技検査の満点(550点)の60%(330点)に達しない者は、総合点の如何に関わらず不合格とします。総合点が同点の場合は、同順位とします。

ウ 小学校コース（体育教育に関心を持つ者）において、実技検査（「スポーツ活動に関する調書」を含む）の満点(600点)の60%(360点)に達しない者は、総合点の如何に関わらず不合格とします。

中学校コース身体文化専修保健体育分野において、実技検査（「スポーツ活動に関する調書」を含む）の満点(550点)の60%(330点)に達しない者は、総合点の如何に関わらず不合格とします。

エ 「志望の理由」の取扱い

志望理由の明確さを判断するための参考資料、または、面接のための参考資料、とします。

オ 「高等学校卒業後の経歴書」の取扱い

| 募集単位等 | | | 「高等学校卒業後の経歴書」の取扱い |
|--------------------|------------|-----------------|-------------------|
| 学校教育 教員養成 課程 | 小学校 コース | (図画工作教育に関心を持つ者) | 面接のための参考資料とします。 |
| | 中学校 コース | 芸術専修 美術分野 | 面接のための参考資料とします。 |

(3) スポーツ活動に関する調書の採点・評価基準

| 募集単位等 | | | 採点・評価基準 |
|--------------------|------------|-------------------|--|
| 学校教育 教員養成 課程 | 小学校 コース | (体育教育に関心を持つ者) | 高等学校在学中3年間のスポーツに関する活動について、大会及びコンクール等の成績を評価します。 |
| | 中学校 コース | 身体文化 専修 保健体育分野 | 高等学校在学中3年間のスポーツに関する活動について、大会及びコンクール等の成績を評価します。 |

(4) 小論文の出題意図、採点・評価基準

| 募集単位等 | | 出題意図 | | |
|------------|-----------|----------------|--|--|
| 学校教育教員養成課程 | 小学校コース | (国語教育に関心を持つ者) | 国語に関する関心、思考力及び表現力をみます。 国語及び国語教育にかかわるテーマについて小論文を課します。 テーマを正確に理解した上で、考察を進めているか、論理的に結論を導き出しているか、等の観点から、複数の試験官が採点・評価します。 | |
| | 小学校コース | (家庭科教育に関心を持つ者) | 家庭科教育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 論理的考察力、理解力、記述力をみます。 | |
| | 中学校コース | 言語文化専修 | 国語分野 | 国語に関する関心、思考力及び表現力をみます。 国語及び国語教育にかかわるテーマについて小論文を課します。 テーマを正確に理解した上で、考察を進めているか、論理的に結論を導き出しているか、等の観点から、複数の試験官が採点・評価します。 |
| | | 身体文化専修 | 保健体育分野 | 保健体育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 保健体育・スポーツに関する知識、理解及び記述力、論理的考察力を総合的に評価します。 |
| | | 生活創造専修 | 家庭科分野 | 家庭科教育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 出題内容の理解、論理的考察力、文章表現力を総合的に評価します。 |
| | 乳幼児教育コース | | 乳幼児教育・保育に関する理解、思考力及び表現力をみます。 出題内容の理解と文章表現能力、論理構成能力を総合的に評価します。 | |
| | 特別支援教育コース | | 特別支援教育を学んでいく上で必要な基礎的・総合的な学力と創造的な思考力を問う問題を出題します。 論理的考察力、理解力、記述力を総合的に評価します。 | |
| | 養護教諭養成課程 | | 保健に関する基礎的・総合的な学力を問う問題を出題します。 保健に関する知識・理解、論理的考察力、記述力を総合的に評価します。 | |

(5) 面接の形式、面接の採点・評価基準

| 募集単位等 | | 面接形式 | 面接員数 | |
|----------------|--|---------------------|--|----|
| 小学校 コース | 学校教育 教員養成 課程 | (教育学に関心を持つ者) | <p>集団面接及び個人面接。</p> <p>集団面接では、題材を提示し、それについて考える時間を設定した上で、集団で討論を行います。併せて、題材に関連した面接員からの問い掛けに、個別の応答を求めます。集団面接では、題材の検討能力などについて評価します。</p> <p>個人面接では、志望動機などについて、面接員からの問い掛けに対し、論理的に表現ができるかなどを評価します。</p> | 複数 |
| | | (心理学・教育実践学に関心を持つ者) | <p>集団面接。</p> <p>将来、教育にかかわる仕事をする意欲、心理学及び教育実践学への関心などを総合的に評価します。</p> | |
| | | (国語教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>面接員が受験生に質問するだけでなく、その場で題を与え、短いスピーチをしてもらいます。</p> <p>国語及び国語教育への関心、将来、教育にかかわる仕事をする意欲、又は言語能力などを、複数の面接員が採点・評価します。</p> | |
| | | (英語教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>英語及び英語教育への関心、学習意欲、表現力、理解力等を総合的に評価します。</p> | |
| | | (社会科教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>社会科に関する興味・関心、論理的な陳述、知識の正確さなどを総合的に評価します。</p> | |
| | | (算数教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>口頭による質問等により、数学及び算数・数学教育に対する関心・意欲、知識を総合的に評価します。</p> | |
| | | (理科教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>自然科学（理科）及び理科教育への関心、学究的態度、卒業後に理科教員になる意欲などを総合的に評価します。</p> | |
| | | (音楽教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>学習意欲、音楽に関する知識、関心を総合的に評価します。各受験生の実技検査終了後、その場でただちに行います。</p> | |
| | | (図画工作教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>学習意欲、学究的態度、芸術及び創造への関心を総合的に評価します。</p> | |
| | | (体育教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>口頭による質問等により、保健体育・スポーツに関する意欲、知識を総合的に評価します。</p> | |
| | | (ものづくりと情報教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>ものづくりと情報についての関心、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。</p> | |
| (家庭科教育に関心を持つ者) | <p>個人面接。</p> <p>家庭科及び家庭科教育に対する関心・意欲、自己表現力、理解力、考察力を総合的に評価します。</p> | | | |
| 中学校 コース | 言語文化 専修 | 国語分野 | <p>個人面接。</p> <p>面接員が受験生に質問するだけでなく、その場で題を与え、短いスピーチをしてもらいます。</p> <p>国語及び国語教育への関心、将来、教育にかかわる仕事をする意欲、又は言語能力などを、複数の面接員が採点・評価します。</p> | 複数 |
| | | 英語分野 | <p>個人面接。</p> <p>英語及び英語教育への関心、学習意欲、表現力、理解力等を総合的に評価します。</p> | |

| | | | | | |
|------------|---|-----------|---|----|--|
| 学校教育教員養成課程 | 中学校コース | 社会専修 | 個人面接。 社会科に関する興味・関心、論理的な陳述、知識の正確さなどを総合的に評価します。 | 複数 | |
| | | 自然科学専修 | 数学分野 | | 個人面接。 口頭による質問等により、数学及び算数・数学教育に対する関心・意欲、知識を総合的に評価します。 |
| | | | 理科分野 | | 個人面接。 自然科学（理科）及び理科教育への関心、学究的態度、卒業後に理科教員になる意欲などを総合的に評価します。 |
| | | 芸術専修 | 音楽分野 | | 個人面接。 学習意欲、音楽に関する知識、関心を総合的に評価します。各受験生の実技検査終了後、その場でただちに行います。 |
| | | | 美術分野 | | 個人面接。 学習意欲、学究的態度、芸術及び創造への関心を総合的に評価します。 |
| | | 身体文化専修 | 保健体育分野 | | 個人面接。 口頭による質問等により、保健体育・スポーツに関する意欲、知識を総合的に評価します。 |
| | | 生活創造専修 | 技術分野 | | 個人面接。 技術についての関心、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。 |
| | | | 家庭科分野 | | 個人面接。 家庭科及び家庭科教育に対する関心・意欲、自己表現力、理解力、考察力を総合的に評価します。 |
| | | 乳幼児教育コース | 集団面接（提示された課題に対するフリーディスカッションを含む）。 乳幼児教育・保育に対する適性、表現力、思考力、コミュニケーション能力、教職・保育士職への意欲を総合的に評価します。 | | |
| | | 特別支援教育コース | 集団面接及び与えられた課題に対するフリーディスカッション。 意欲、表現力、考察力等をみて、総合的に評価します。 | | |
| 養護教諭養成課程 | 集団面接（集団討論を含む）。 保健についての知識・理解、思考力、判断力、コミュニケーション能力、教職への意欲等を総合的に評価します。 | | | | |

(6) 実技検査の採点・評価基準

| 募集単位等 | | 採点・評価基準 | | |
|--------------------|------------|-----------------|-------------------------------|------------------------------|
| 学校教育 教員養成 課程 | 小学校 コース | (音楽教育に関心を持つ者) | 演奏技術、音楽性、表現力、曲の解釈を総合的に評価します。 | |
| | | (図画工作教育に関心を持つ者) | 意欲、表現力、素描力、色彩感覚を総合的に評価します。 | |
| | | (体育教育に関心を持つ者) | 選択した実技検査項目の各課題の達成度及び資質を評価します。 | |
| | 中学校 コース | 芸術専修 | 音楽分野 | 演奏技術、音楽性、表現力、曲の解釈を総合的に評価します。 |
| | | | 美術分野 | 意欲、表現力、素描力、色彩感覚を総合的に評価します。 |
| | 身体文化 専修 | 保健体育分野 | 選択した実技検査項目の各課題の達成度及び資質を評価します。 | |

5 配点

| 募集単位等 | | 小論文 | 面接 | 実技検査 | スポーツ活動に関する調書 | 大学入試センター試験 | 計 | |
|-----------|---------------------|--------|-----|------|--------------|------------|------|------|
| 小学校コース | (教育学に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (心理学・教育実践学に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (国語教育に関心を持つ者) | 350 | 350 | | | 700 | 1400 | |
| | (英語教育に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (社会科教育に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (算数教育に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (理科教育に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (音楽教育に関心を持つ者) | | 150 | 550 | | 700 | 1400 | |
| | (図画工作教育に関心を持つ者) | | 350 | 350 | | 700 | 1400 | |
| | (体育教育に関心を持つ者) | | 100 | 600 | | 700 | 1400 | |
| | (ものづくりと情報教育に関心を持つ者) | | 700 | | | 700 | 1400 | |
| | (家庭科教育に関心を持つ者) | 350 | 350 | | | 700 | 1400 | |
| 中学校コース | 言語文化専修 | 国語分野 | 350 | 350 | | | 700 | |
| | | 英語分野 | | 700 | | | 700 | 1400 |
| | 社会専修 | | | 700 | | | 700 | 1400 |
| | 自然科学専修 | 数学分野 | | 500 | | | 900 | 1400 |
| | | 理科分野 | | 500 | | | 900 | 1400 |
| | 芸術専修 | 音楽分野 | | 150 | 550 | | | 700 |
| | | 美術分野 | | 350 | 350 | | | 700 |
| | 身体文化専修 | 保健体育分野 | 100 | 50 | 550 | | | 700 |
| | 生活創造専修 | 技術分野 | | 500 | | | 900 | 1400 |
| | | 家庭科分野 | 350 | 350 | | | | 700 |
| 乳幼児教育コース | | 350 | 350 | | | | 700 | |
| 特別支援教育コース | | 350 | 350 | | | 700 | 1400 | |
| 養護教諭養成課程 | | 350 | 350 | | | | 700 | |

6 入試日程

(1) 期日及び集合場所

令和元年11月16日（土）、17日（日） 埼玉大学教育学部

注：選考は下記のとおり予定していますが、志願者数により1日で実施することがあります。
 なお、実施期日、試験時間等の詳細は、受験票配信の際に通知します。

(2) 日程

| 募集単位等 | | 11 / 16 (土) | 11 / 17 (日) | |
|-----------|---------------------|--|--|--|
| 小学校コース | (教育学に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (心理学・教育実践学に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (国語教育に関心を持つ者) | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (英語教育に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：13：00～ | |
| | (社会科教育に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (算数教育に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (理科教育に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (音楽教育に関心を持つ者) | 実技検査および面接：9：00～ | 実技検査：9：00～12：00 面接：13：00～ | |
| | (図画工作教育に関心を持つ者) | 実技検査：9：00～12：00 面接：13：00～ | 実技検査：9：00～12：00 面接：13：00～ | |
| | (体育教育に関心を持つ者) | 面接：13：00～ | 実技検査：9：00～ | |
| | (ものづくりと情報教育に関心を持つ者) | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| | (家庭科教育に関心を持つ者) | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 面接：9：00～ | |
| | 中学校コース | 言語文化専修 | 国語分野 | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ |
| 英語分野 | | | 面接：9：00～ | |
| 社会専修 | | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ | |
| 自然科学専修 | | 数学分野 | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ |
| | | 理科分野 | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ |
| 芸術専修 | | 音楽分野 | 実技検査および面接：9：00～ | 実技検査：9：00～12：00 面接：13：00～ |
| | | 美術分野 | 実技検査：9：00～12：00 面接：13：00～ | 実技検査：9：00～12：00 面接：13：00～ |
| 身体文化専修 | | 保健体育分野 | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 実技検査：9：00～ |
| 生活創造専修 | | 技術分野 | 面接：9：00～ | 面接：9：00～ |
| | | 家庭科分野 | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 面接：9：00～ |
| 乳幼児教育コース | | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 面接：9：00～ | |
| 特別支援教育コース | | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 面接：9：00～ | |
| 養護教諭養成課程 | | 小論文：9：30～11：00 面接：13：00～ | 面接：9：00～ | |

(3) 成績請求票の取り扱い

大学入試センター試験を課す募集単位等の出願者は、大学入試センターより大学入試センター試験受験票が到着したら、受験票に添付されている「推薦国公立推薦入試用」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、大学入試センター試験成績請求票貼付用紙を印刷し、「推薦国公立推薦入試用」成績請求票を貼り、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月23日（月）までに必ず送付してください。

7 出願手続

| | | |
|-------|--|--|
| 出願方法 | 出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 39頁「XV Web出願について」をよく読み、手続きを行ってください。 | |
| 出願期間 | 令和元年11月1日(金)～7日(木) 期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(金)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(金)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。) | |
| 提出書類等 | 1 入学志願票 | Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。 |
| | 2 推薦書 | 出身学校長が作成したもの。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 3 調査書 | 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。 |
| | 4 志望の理由 | 学校教育教員養成課程において「志望の理由」の提出を求める募集単位等(15頁「4選抜方法」の項を参照のこと)、養護教諭養成課程の志願者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 5 音楽実技検査に関する調査書 | 学校教育教員養成課程小学校コース(音楽教育に関心を持つ者)及び中学校コース芸術専修音楽分野の志願者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 6 スポーツ活動に関する調査書 | 学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)及び中学校コース身体文化専修保健体育分野の志願者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 7 高等学校卒業後の経歴書 | 学校教育教員養成課程小学校コース(図画工作教育に関心を持つ者)及び中学校コース芸術専修美術分野の志望者のうち、既卒者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 8 検定料の免除 | 検定料の免除については、37頁「X 検定料の免除」を参照。 |
| 書類提出先 | 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教育学部係 | |

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。上記1～8以外の書類等は封入しないでください。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
 - ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - (2) 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>) より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、請求書受理後1ヶ月程度かかります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、41頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、教育学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

VI 理学部

1 推薦入試を実施する学科及び募集人員

| 学 科 | 募 集 人 員 |
|-------|---------|
| 基礎化学科 | 5 名 |

2 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。）

推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

3 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校において化学（又は相当する科目）及び物理（又は相当する科目）を既修又は履修見込みの者 ※ただし、「化学基礎」・「物理基礎」は含まない
- (3) 化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。
- (2) 「推薦入試の選抜」の結果不合格となった者（合否未定の者を含む。）は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができる。ただし、推薦入試で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

- (1) 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、大学入試センター試験〔3教科5科目〕{数I・数A, 数II・数B, 化, (物, 生, 地学) から1, 英(リスニングを含む。)}及び面接によります。

注：「志望の理由」は、数ある大学の化学系学科の中から、なぜ埼玉大学の基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループまたは個人の自由研究や課題研究、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。

| 配点 | 大学入試センター試験 | | | | | 面接 |
|----|------------|--------|-----|----------------|-----|-----|
| | 数I・数A | 数II・数B | 化 | (物, 生, 地学)のうち1 | 英 | |
| | 100 | 100 | 100 | 100 | 250 | 650 |

- (3) 面接の採点・評価基準・形式
 - ・面接は日本語で行い、理科（化学、物理）及び数学に関する口頭試問を含みます。
 - ・形式は個人面接とし、面接員数は複数です。
なお、グループディスカッションは行いません。
 - ・面接の採点評価基準：口頭試問の結果を総合的に判断します。
- (4) 合否判定基準
大学入試センター試験及び面接の総合点により順位を付け合否を判定します。
なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は基礎資料とします。

5 入試日程

(1) 期 日 及 び 場 所

令和元年11月16日(土) 埼玉大学理学部

なお、大学入試センター試験（令和2年1月18日（土）、19日（日）実施）において、必ず必要科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。

(2) 日 程 面 接 13:00～

大学入試センターより大学入試センター試験受験票が到着したら、受験票に添付されている「**推薦 国公立推薦入試用**」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、大学入試センター試験成績請求票貼付用紙を印刷し、「**推薦 国公立推薦入試用**」成績請求票を貼り、「〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月23日（月）までに必ず送付してください。

6 出願手続

| | | |
|-------|--|--|
| 出願方法 | 出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 39頁「XV Web出願について」をよく読み、手続きを行ってください。 | |
| 出願期間 | 令和元年11月1日(金)～7日(木) 期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(金)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(金)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。) | |
| 提出書類等 | 1 入学志願票 | Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。 |
| | 2 推薦書 | 出身学校長が作成したもの。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 3 志望の理由 | 本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】 |
| | 4 調査書 | 出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。 |
| | 5 検定料の免除 | 検定料の免除については、37頁「X 検定料の免除」を参照。 |
| 書類提出先 | 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理学部係 | |

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、請求書受理後1ヶ月程度かかります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、41頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、理学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

VII 工学部

1 推薦入試を実施する学科及び募集人員

| 学 科 | 募 集 人 員 |
|------------|---------|
| 環境社会デザイン学科 | 10名 |

2 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。）

推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。

3 推薦対象者

次の各条件を満たす者としします。

注) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。

- (1) 平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 調査書中、学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者
- (3) 物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。
- (2) 「推薦入試の選抜」の結果不合格となった者（合否未定の者を含む。）は、国公立大学の「前期日程」「後期日程」にも出願し、受験することができる。但し、推薦入試で入学手続をした場合は、「前期日程」「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

- (1) 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、調査書、小論文、面接及び大学入試センター試験〔3教科4科目〕{数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 物, 英(リスニングを含む。)}による。(注1)(注2)

(注1) 推薦入試では、センター試験の外国語(英語)の受験を必須とします。

(注2) 外国語(英語)の評価は、大学入試センター試験の成績もしくは、実用英語技能検定試験(英検)、TOEIC(IPを含む)、TOEFL(PBT, iBT)の結果をセンター試験の成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用いる。なお、実用英語技能検定試験、TOEIC、TOEFLの成績は、本学への成績提出日の2年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。

- (2) 配点

| 大学入試センター試験(注1) | | | | 小論文 | 面接 |
|----------------|-------|-----|--------|-----|-----|
| 数Ⅰ・数A | 数Ⅱ・数B | 物理 | 英語(注2) | | |
| 100 | 100 | 200 | 200 | 400 | 400 |

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。

センター試験「理科②」は、第1解答科目を採用する。

(注2) 実用英語技能検定試験、TOEIC、TOEFLの成績は、英語200点満点に以下のように換算して評価する。

① 実用英語技能検定試験: 準2級 120点、2級160点、準1級・1級200点

② TOEIC: $TOEIC \text{ 得点} \times 200 / 780$ 、ただし200点を上限とする。

③ TOEFL(PBT): $TOEFL \text{ 点} = (TOEFL \text{ (PBT) 点} - 296) / 0.348$ を使いTOEIC点数に換算する。

④ TOEFL(iBT)の得点は、ETSから公表されている換算表によりTOEFL(PBT)の得点に換算し、③の方法で計算する。

なお、TOEIC-IPの得点は、志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。

- (3) 小論文の採点・評価基準
理解力、論理的思考力、記述力を重視します。

- (4) 面接の採点・評価基準・形式
- ・面接は日本語で行います。
 - ・形式は個人面接を基本とするが、志願者数により集団面接（4～6人）とする場合もあります。
 - ・複数の面接員で実施します。
 - ・グループディスカッションは行いません。
 - ・学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、及び調査書は、面接の評価対象とします。内容について、面接で質問することもあります。
 - ・面接の採点評価基準：表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
- (5) 合否判定基準
大学入試センター試験、小論文及び面接の総合点順により合否を決定します。
総合点が同点の場合は、同順位とします。

5 入試日程

- (1) 期日及び場所
令和元年11月16日(土) 埼玉大学工学部
なお、大学入試センター試験（令和2年1月18日（土）、19日（日）実施）において、必ず必要科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。
- (2) 日程
小論文 9：30～11：00（90分）
面接 12：00～

大学入試センターより大学入試センター試験受験票が到着したら、受験票に添付されている「**推薦** 国公立推薦入試用」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、大学入試センター試験成績請求票貼付用紙を印刷し、「**推薦** 国公立推薦入試用」成績請求票を貼り、「〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月23日（月）までに必ず送付してください。

6 小論文の出題意図

論理的な思考力や表現能力などを判断するため、課題文（英文や実験データを含むことがある）を与えて、それに関する設問に論文形式で記述させる。

7 出願手続

| | | |
|-------|--|---|
| 出願方法 | 出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 39頁「XV Web出願について」をよく読み、手続きを行ってください。 | |
| 出願期間 | 令和元年11月1日(金)～7日(木) 期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(金)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(金)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。) | |
| 提出書類等 | <p>1 入学志願票</p> <p>2 推薦書</p> <p>3 志望の理由</p> <p>4 自己アピール</p> <p>5 活動実績 (添付資料含む)</p> <p>6 調査書</p> <p>7 英語力検定試験の成績証明書</p> <p>8 検定料の免除</p> | <p>Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。</p> <p>出身学校長が作成したもの。【本学HP掲載の様式を利用】</p> <p>本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】</p> <p>本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】</p> <p>本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】</p> <p>出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。</p> <p>実用英語技能検定試験(英検)、TOEIC、TOEFL(PBT、iBT)はスコア票(原本)、TOEIC-IPは成績書に高等学校の公印を受けたものを提出してください。(希望者のみ)</p> <p>検定料の免除については、37頁「X 検定料の免除」を参照。</p> |
| 書類提出先 | 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係 | |

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、請求書受理後1ヶ月程度かかります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、41頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、工学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

VIII 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：アドミッションセンター（入試課） 電話048-858-3036（平日9時～17時）

1 申請方法

申請する場合は、次の①、②を【〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課】あてに提出してください。

郵送の場合は、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書してください。

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

| | |
|---|---|
| ① | 令和2年度埼玉大学入学志願者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書（本学所定の用紙） 申請用紙は、学務部入試課の窓口で直接受け取るか、埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf) |
| ② | 医師の診断書（障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの） 発行後6ヶ月以内の原本 |

2 申請書提出時期

令和元年10月1日（火）から令和元年10月11日（金）までに申請してください。

障がいの程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもあります。その場合にはできるだけ早めに申請してください。

なお、上記の締切日以降を過ぎた時点で申請した場合は、出願受付期間前に回答することができないことがあります。その場合には、要望事項等への回答が来る前であっても出願受付期間内に出願する必要があるため、出願後に希望した措置の可否が通知されることとなります。（出願受付期間を延長することはできません）

3 申請受付後の回答日

令和元年10月31日（木）（予定）

提出された書類を元に、ご希望の措置が実施できるか本学関係者が検討を行い、支障がないことを確認した時点で、上記①の配慮申請書に記載されている住所あてに、回答文書を郵送します。そのため、上記の回答日はあくまで予定日となります。

4 出願時の手続

(1) この申請で受験許可を得た者は、出願書類を郵送後、その旨を上記の事前相談担当に電話連絡してください。

(2) この申請で受験許可を得た者が、出願を辞退、若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の事前相談担当に電話連絡するとともに、はがき又は手紙で通知してください。

IX 合格者の発表及び入学手続

1 合格者の発表

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

(1) 合格通知書及び入学手続書類の発送日

① 教養学部・教育学部（大学入試センター試験を課さない募集単位等）

令和元年12月3日（火）

② 経済学部・教育学部（大学入試センター試験を課す募集単位等）・理学部・工学部

令和2年2月10日（月）

(2) 推薦入試については、学校長にも郵送にて可否を通知します。

(3) 電話による可否結果の問い合わせには一切応じません。

＜合否照会システム＞

補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。

利用方法の詳細は、44頁をご覧ください。

合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。

- ① 教養学部・教育学部（大学入試センター試験を課さない募集単位等）
令和元年12月3日(火)14:00～12月6日(金)17:00
- ② 経済学部・教育学部（大学入試センター試験を課す募集単位等）・理学部・工学部
令和2年2月10日(月)14:00～2月13日(木)17:00

2 入学手続

- (1) 入学手続日 令和元年12月12日(木)（教養学部・教育学部（大学入試センター試験を課さない募集単位等）
令和2年2月17日(月)（経済学部・教育学部（大学入試センター試験を課す募集単位等）・理学部・工学部）

(2) 提出書類

ア 受験票

イ その他、本学の指定する書類等（合格者に送付します。）

(3) 納付金

ア 入学料 282,000円〔予定額〕

イ 授業料（前期分）267,900円〔予定額〕（年額 535,800円〔予定額〕）

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行ってください。なお、郵送による入学手続も実施します。詳細については合格者にお知らせします。

注1) 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

注2) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

注3) 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和2年4月中に納付することとなります。

注4) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料など、若干の諸経費が必要となります。

注5) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注6) 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考のうえ、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

注7) 令和2年3月31日（火）午後5時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

3 留意事項

- (1) 入学手続を行わない者は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱います。
- (2) 入学手続を行わない場合には、翌年度以降当該出身学校長からの推薦を受理しないことがあります。
- (3) 入学手続をした者が、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても入学許可は得られません。
ただし、特別な事情があり、推薦を行った学校長から令和2年2月19日（水）までに、「入学辞退届」を添えて「推薦入試辞退願」を本学学長に提出し、その許可が得られた場合はこの限りではありません。
※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>）参照

4 その他

推薦入試の選抜の結果不合格となった者が一般入試を受験する場合の手続等

- (1) 「推薦入試の選抜」の結果不合格となった者（合否未定の者を含む。）は、国公立大学（「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部等）の一般入試にも出願し、受験することができます。

なお、その場合、大学入試センター試験の受験を必要とするので注意してください。

- (2) 上記(1)により、本学の一般入試を受験することを希望する者は、令和元年11月頃に公表する「令和2年度埼玉大学学生募集要項」に従って、あらためて出願してください。

X 検定料の免除

学資負担者が、平成31年4月1日から出願時までには災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。

検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページ上（http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/）から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書（写しでも可。）を添付して、原則として10月17日（木）までに、志望する学部の学部係へ提出してください。

本学で検定料免除願を受理し、検定料の免除を認めた場合、出願開始日の前日までにWeb出願時に必要なパスワードを郵送にてお知らせします。

なお、申請期限後に申請を希望する志願者は、志望する学部の学部係へ相談してください。

また、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

XI 入試情報の開示

埼玉大学では、令和2年度入試情報の開示について次のとおり開示し、提供します。

- 開示対象者
推薦入試を受験し不合格となった者を対象とします。
- 請求に基づき開示する情報
入試成績 ①大学入試センター試験成績（総合点、科目別得点）※大学入試センター試験を課す募集単位のみ
②個別学力検査等の成績（総合点、科目別得点）
③順位
④合格者の最低点・平均点（募集単位毎に合格者が6名以上の場合、総合点を開示する。）

開示請求方法

請求者 受験生本人に限ります。

請求方法 「埼玉大学入試情報開示申請書」（本学ホームページからダウンロードすること。）及び返信用封筒（長3封筒に404円分の切手を貼付し、簡易書留と朱書すること。）を郵送または持参してください。

注 本人確認のため、本学の受験票（正本に限る。コピー不可）を同封してください。

請求期間 令和2年4月6日（月）～4月17日（金）【期間内必着のこと。】

請求先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学入試課（「入試情報開示請求」と朱書すること。）

開示方法 5月下旬に郵送します。

- 窓口で閲覧できる情報
・学力検査の正解・解答例又は出題意図

XII 個人情報保護について

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱う。

- (1) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生宿舎の入居選考を行うために利用する。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。
- (3) 上記(1)及び(2)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供する。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。
- (5) 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

XIII 入試情報ホームページ及びスマホサイト

<http://www.saitama-u.ac.jp> 【パソコン】

<http://telemail.jp/web/saitama-u/> 【パソコン・スマホ】



スマホサイトQRコード

XIV 学生宿舎

埼玉大学では、修学に適する良好な環境を提供し、自主的な生活を通じて、自立性を培うとともに、規律ある社会性を育む機会を与えることを目的として学生宿舎を設置しています。

学生宿舎の居室は、約 4.5 畳のワンルームタイプ（照明設備、空調設備、IH調理機、机、椅子およびベッドは常設）で、居室数は、男子用 144 室、女子用 128 室の合計 272 室ですが、入居対象を学部の 1 年生と 2 年生に限定しているため、例年約半数の居室数分を募集しています。

入居を希望される方は、令和元年 11 月頃に学生宿舎 Web ページで公表される『令和 2 年度埼玉大学学生宿舎入居者募集要項』を確認のうえ、『提出書類様式等』をプリントアウトし、必要書類と併せて指定の方法により提出してください。

なお、Web ページから募集要項等が入手できない場合には、返信用封筒を埼玉大学学務部学生支援課へ送付していただければ、折り返し『募集要項等一式』を返送します。

送付していただく返信用封筒は、次のとおりにしてください。

返信用封筒

角形 2 号の封筒（A4 サイズの紙を折らずに入る封筒）に、居住地の郵便番号、住所および氏名を記載して、120 円分の切手を貼付してください。

速達での郵送を希望する場合は、290 円追加して合計 410 円分の切手を貼付してください。

発送する封筒の表の余白に、「埼玉大学学生宿舎入居者募集要項請求」と朱書きしてください。

※ 返送は令和元年 11 月以降になります。郵便料金は令和元年 10 月 1 日に変更される新料金を適用してください。

学生宿舎入居者募集要項請求先 〒338-8570
埼玉県さいたま市桜区下大久保 255
埼玉大学学務部学生支援課

令和 2 年度学生宿舎入居申請出願期間

令和 2 年 2 月中旬～下旬（予定） ※一週間程度（期間内必着）

一般入試の受験生を含めて選考を行っているため、出願期間を上記のとおり設定しています。詳細は令和元年 11 月頃に公表される『令和 2 年度埼玉大学学生宿舎入居者募集要項』で確認ください。

★ 埼玉大学学生宿舎 Web ページアドレス（URL）

<http://www.saitama-u.ac.jp/support/seikatsu/sisetsu/syukusya/info.htm>

（埼玉大学 Web ページ内検索で「学生宿舎」と入力しても該当ページが表示されます。）

※ 入居希望者が募集人員より多くなることが予想されます。入居が許可されない場合に備えて、他の住居（民間アパート等）についても考慮しておいてください。

XV Web出願について

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類… 調査書、推薦書、写真データなど

STEP
2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/saitama-n/>
または、
大学ホームページ ▶ <http://www.saitama-u.ac.jp/>
からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能

STEP
3

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

① 試験区分、志望学部・学科等

② 個人情報(氏名・住所等)

③ 申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

④ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
番号メモ(13桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、
ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

- 39 -

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON



Famiポート

あなたと、コンビニ。
FamilyMart

クラブ
ステーション

Seicomart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

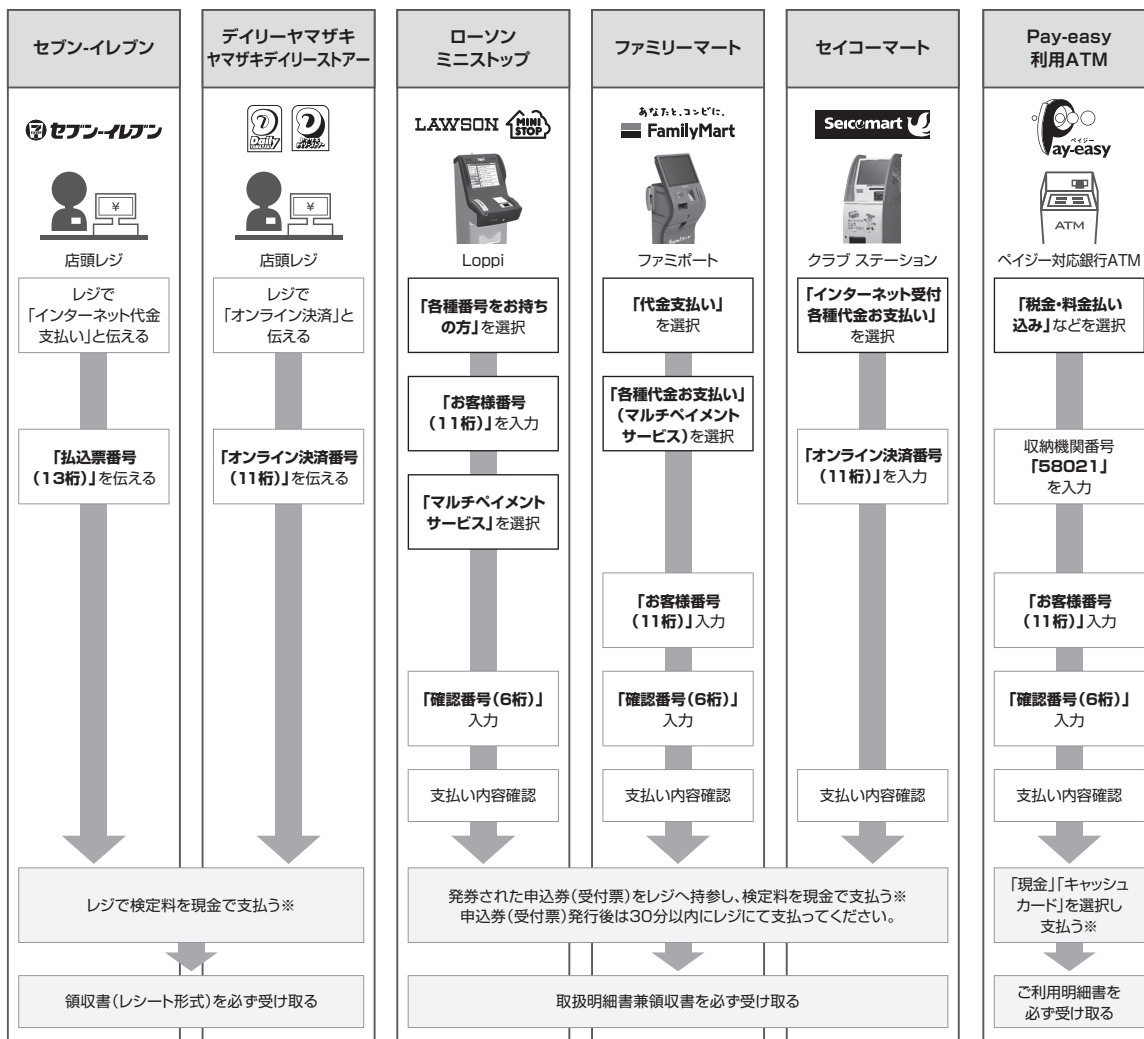
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP


5

必要書類の郵送


*登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面、または確認メールに記載されている必要書類を郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。


必要書類

Web志願票


+

推薦書


+

調査書

※開封無効

+

- 志望の理由
- 自己推薦書
- 音楽実技検査に関する調書
- スポーツ活動に関する調書
- 高等学校卒業後の経歴書
- 英語力検定試験成績証明書
- 留学先での成績証明書
- 自己アピール
- 活動実績 など


※対象者のみ

送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学〇〇学部 行

■出願書類
詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



※Web出願で、入力内容の間違いに気づいた場合について

- (1)【入学検定料の支払い前の場合】再度始めからお申し込み直してください。新たに【お支払いに必要な番号】が通知されるので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。(※前回の出願内容は、お支払い期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)
- (2)【入学検定料を支払った後の場合(入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む)】やり直しが出来ません。その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線(赤)で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「希望する学部・学科等」「体育実技受験希望項目」の訂正は一切応じません。

XVI 受験票のダウンロード

- (1) 令和元年11月13日(水)に、出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信しますので、受験票をダウンロードして印刷してください。


なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができますので、下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。

ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先: 埼玉大学学務部入試課 【電話 048 (858) 3036】

- 【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。

【埼玉大学】出願サービス 受験票印刷可能メール 受信トレイ x

 no-reply@e-apply.jp disc.co.jp 経由
To e-apply_staff

◆=====◆
【e-applyインターネット申込受付サイト】
埼玉大学 出願サービス 受験票印刷可能のご案内
◆=====◆

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■受付番号
228823856610
※受験番号ではありません。

■以下のURLから登録内容を必ず確認の上、受験票を印刷してください。
<https://rehearsal.e-apply.jp/n/saitama-n/login/228823856610>

■注意
○試験当日は、印刷をした受験票を持参してください。
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。
○受験票が印刷できない場合は、速やかに募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡をしてください。
○本メールは入試が終了するまで大切に保管してください。


本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承下さい。

問い合わせについては、募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡願います。

当メールに心当たりが無い場合は、誠に恐れ入りますが破棄していただきますよう、
よろしく申し上げます。

【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。

登録内容確認ページにログインするには、出願登録時の【受付番号(数字 12桁)・生年月日・メールアドレス】が必要になります。



Step6 受験票の印刷

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールにて通知します。
必ず印刷し、試験当日持参してください。

➡ 出願内容の確認 / 志願票・受験票の印刷はこちら



※ トップページ / Top

出願したときの受付番号(12桁)、生年月日、メールアドレスを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

ログイン

| | | |
|---------|---|--------|
| 受付番号 | <input type="text"/> | (半角数字) |
| 生年月日 | <input type="text" value="2000"/> / <input type="text" value="01"/> / <input type="text" value="01"/> | |
| メールアドレス | <input type="text"/> | |

ログイン

※ サイトの管理運営は株式会社ディスコが行っています。
© DISCO Inc.

【STEP3】 ログイン後、受験生登録画面より受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

お支払い内容

| | |
|-------|---------------------|
| 受付番号 | 228823856610 |
| 受付日時 | 2019年1月21日 0時00分00秒 |
| 検定料 | 17,000 円 |
| 決済種別 | クレジットカード |
| 払込手数料 | 810 円 |
| 合計金額 | 17,810 円 |

| | |
|-----------|---|
| 出願申込ステータス | 入学検定料は納入済みです。 次のボタンを押して表示される「入学志願者名票」「出願書類提出用宛名シート」を印刷し、 その他必要な書類とあわせて、必ず提出期限内に「書留・速達郵便」で郵送してください。 (必要書類・提出期限は必ず募集要項で確認してください。) ※「入学志願者名票」には「平成31センター試験成績請求票」を必ず貼付して提出してください。 ※「出願書類提出用宛名シート」は送付先の宛名等があらかじめ記載されていますので、書類を封入する角形2号封筒の表面に貼付して使用してください。 |
| | 出願書類(PDF)の表示 |
| 受験票等のPDF | 受験票等のPDFの表示 |

写真

| | |
|--------|--|
| 登録する写真 |  |
|--------|--|

(2) 「埼玉大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

XVII 合否照会システムの利用方法について

■WEB による合否結果通知

1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※バーコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

2. 操作手順



一般入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試
についての募集要項は、令和元年11月頃に
「令和2年度埼玉大学学生募集要項」として公表する
予定です。

本募集要項についての問い合わせ先

〒 338-8570
埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 アドミッションセンター（入試課）
TEL 048 (858) 3036

※ 問い合わせは、平日の9時～17時の間に、志願者本人が行ってください。

| | | |
|----------|--------|--------------------|
| 教養学部 志願者 | 教養学部 係 | TEL 048 (858) 3044 |
| 経済学部 志願者 | 経済学部 係 | TEL 048 (858) 3287 |
| 教育学部 志願者 | 教育学部 係 | TEL 048 (858) 3144 |
| 理学部 志願者 | 理学部 係 | TEL 048 (858) 3345 |
| 工学部 志願者 | 工学部 係 | TEL 048 (858) 3429 |

インターネット出願についての問い合わせ先

■ 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
(運用会社：株式会社ディスコ) TEL : 0120-202079 E-Mail : cvs-web@disc.co.jp